

令和３年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立第二中学校）

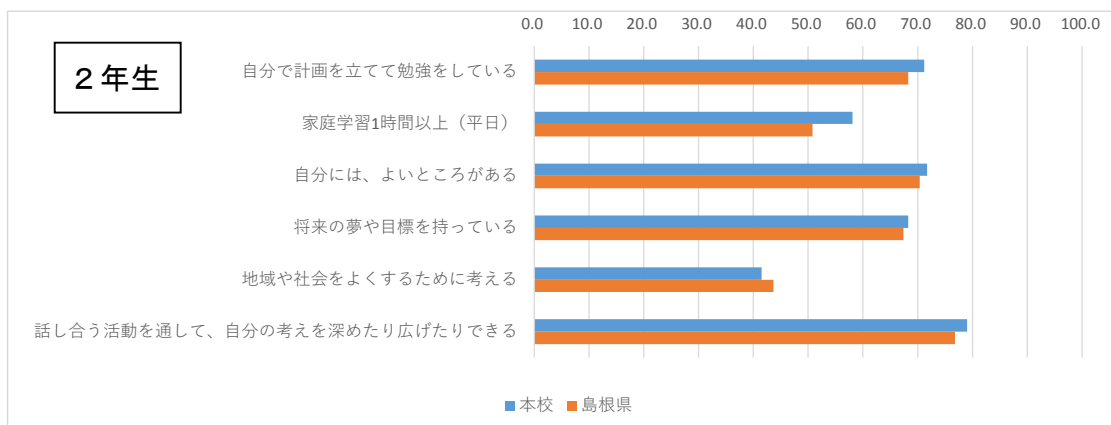
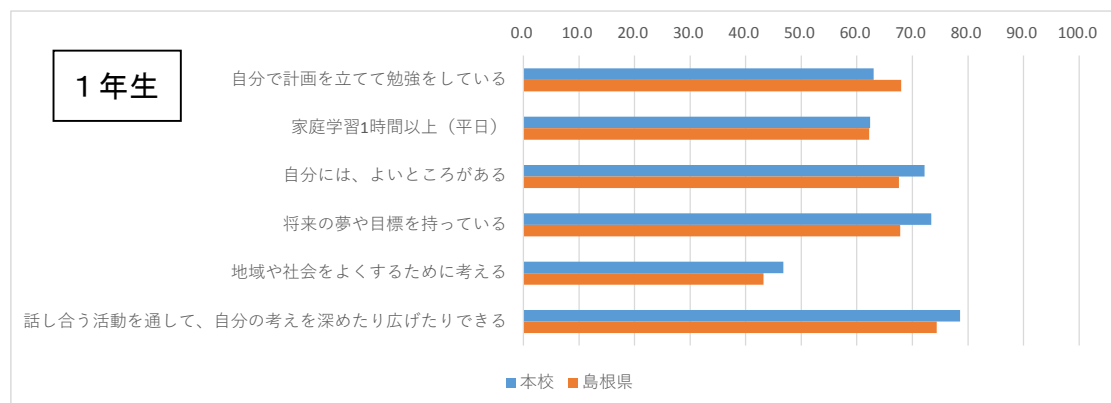
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

1 年 国 語	○情報の扱いに関する学習内容や読解力が定着しており、 普段の指導の成果であると思われる。 ●我が国の伝統文化に関する学習や、記述式問題の解答 方法が身につくような授業を行う必要がある。	2 年 国 語	○漢字の読み書きや語彙の理解は高く、単元の漢字テスト 等の成果であると考えられる。 ●「書くこと」の正答率が極端に低く、自分で考えて課題に 取り組んだり、自身の経験と照らし合わせたりすることが難 しいようだ。目的に応じて書く力を鍛える必要がある。
1 年 数 学	○学習規律や学習習慣が全体的に身についている。 ○授業や課題で基礎・基本の内容を繰り返し扱ったこと が、定着につながっている。 ●図形指導をより丁寧に行い、記述など数学的な表現力を 伸ばせるような授業を展開する必要がある。	2 年 数 学	○授業や課題に多くの生徒がきちんと取り組んでおり、基 礎的な学力や学習習慣が身についている。 ●授業で分からないところを先生に質問できない生徒の割 合が多い。 ●日常生活や遊びなどで数学を結びつけることが少ない。
1 年 英 語	○学習規律が保たれ、落ち着いて授業に臨んでいる。 ○単語をペアで発音したり書いたりする活動を頻繁に行っ ている成果がデータに表れている。 ●ALTと積極的に話していると答えた生徒が少ないので、 もっとALTを交えた活動を行う必要がある。	2 年 英 語	○定期的にテストをしたり単元のとめを丁寧に行ったりし たので、市や県の平均値を上回ったと思われる。 ○まとまった英文を正確に書く力を伸ばす必要がある。 ●生徒が自分で考えて課題に取り組んだり、英語検定を受 けようとする生徒が少ない。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

1 年	○生徒が保護者や教師との信頼関係をしっかり構築してい るので、基本的な生活習慣についての数値が高い。 ○学校の自学ノートの取り組みが定着している。 ●ゲームやスマートフォンの普及で、夜更かしする生徒が 多い。メディアの授業を行い、啓発する必要がある。 ●自分で考えて行動できる生徒の育成が課題である。	2 年	○全体的に落ち着いた生活をしている様子が分かる。 ○朝食夕食の摂取率が高く、基本的な生活習慣が身につ いている。 ●新聞の記事を読んでいる生徒の割合が低い。 ●夜更かしをする生徒の数が多い傾向にあるので、指導し ていかなければならない。
--------	---	--------	---

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 175名 2年生 205名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、
最少の受検者数をもって表示。